제500호 1910. 9. 4.

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵稅一ケ月十五錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎

發行所　京城新報社　京城西署西小門通（電話六六三）

雜報

上古の日韓關係（一）

▲幣原博士の談

▲箕子說は僞作　朝鮮開國の君に檀君と云ふ人がありますが是れは後世の捏造說であると僞に我國の學者間に傳へられて居るのみでなく其の國の學者にも之を唱へて居る人がある位でありますが扨て周の武王の時に殷人が五千人を率ゐて遼水を渡り朝鮮に入つて平壤に都しました此平壤と云ふのは今日の平壤ではなくて遼陽で有らうと云ふ說でも有ります◯兎に角支那本土の文物は此時始めて東漸したのであります、殷人とは即ち箕子でこの箕子の事を最も詳かに書いた書物に箕子志と云ふのがあります、之れに據りまする箕氏四十一代の王名在位年數等も明かでありますが是れ亦た後世の僞作であります、但し箕子の末裔に箕準と云ふ人があつて此の箕準の時に箕氏は燕人衛滿の爲めに滅され南の方に走つて今日の釜山に落着いたのであります

▲馬韓の原始　當時此地を金馬郡と謂ひました即ち馬韓の始めであります、此金馬郡と云ふ名は素より後世の當字でありますが、否この金馬もコンマルと讀ませて然るべきかと思ふのであります、其意味は大都の地名を斯く呼び傳へたからであります

▲支那政府の領　衛滿の方は其後何うなつたかと云ふに右渠の代になりまで其祖先が漢と約束をした條件を守らず專横の擧動がありましたので、漢の武帝は兵を出して之を討ち遂に亡ぼして始めて爰に支那亡命者の建てた國を纏めて支那政府の領土と變じたのであります、此時の戰爭の詳細は載せて漢書にあります

▲行政區畫の變更　漢は其國の行政を一變し四郡に區畫しました、即ち樂浪臨屯、玄菟、眞番であります、樂浪郡は今日の平安道及び黄海道臨屯郡は京畿道及び江原道玄菟郡は咸鏡道眞番郡は遼東の地即ち是れであります、而して其民政廳は何處に置いたかと云ひますと樂浪は朝鮮縣即ち平壤に臨屯は東施縣江陵に玄菟は沃沮即ち咸興に眞番は霅縣に置きました、霅縣は遼陽で有らうと云ふ說もありますけれども鴨綠江の上流と云ふ說の方が正しいと思はれます、漢が斯くの如く古朝鮮を我郡縣にしたのは一大英斷でありましたが其後永く統治の効を收むること能はずして土郷の跋扈を來たし民政廳も漸次北に遷つて遂に整理が行屆かず其後關係が絕ゆるに至つたのであります、支那と朝鮮との關係は先づ此位に略して置きませう

▲我上代風俗に類似　扨南方金馬郡の始め即ち韓國の起原に就て少しく其沿革を述べると馬韓の人民は既に土着して地を耕し養蠶をなし手工を覺え又珠玉を愛して喜んで之を髮に飾り耳に垂れなどいたしました、其他弓を用ひ楯を使ひ住居の扉は上に向つて開閉するが如き頗る我上代の風俗と類似して居るのであります、此馬韓の東に當つて一の部落があります、此の部落を總稱して辰韓と稱ひます、又此辰韓の附屬國に辨辰と云ふ地があつて是れは洛東江の沿岸になつて居ります、又此辰の名は餘程古くからあつたものと見えて五漢書に三韓のことを書いて（皆古の辰國なり）と云ふことがあります、又魏略に「辰王治月支國」とありますが、月支國と云ふのは馬韓五十餘國中の一つであります

地方通信

▲平壤通信

▲合併勅諭掲示　當民團役所にては今回發表せられたる日韓合併に關する我天皇陛下の詔勅を一般當地方民に公示する事とし三十一日を以て當市街大同門郵便局掲示場前及民團役所掲示場の二箇所に於て掲示したるが右の詔勅の一部は廣く一般新日本國民たる朝鮮人に周知せしむべく朝鮮文を以て成り居れり

▲金融の必迫　昨今當地に於ける金融狀態を聞くに貿易商側は時局問題解決せられたるも之が爲めに何等の影響を感せざるより別に金融上著しき變化を見ざるも新市街側に在りては昨今の金融は非常に必迫を告げ民間金利の如きは殆んど四步五步を唱へ而かも尚ほ借手の少からざる模樣にて今其原因と云ふを聞くに新市街に對しては近頃各銀行とも大に貸出しを縮ぶり居れる所に京義線の改修工事請負人其他官署の取下げ金等は時局の爲め大に遅延する傾きあるを以て此等の需用者は目前の必要上金利の高下を問ふの暇なき爲め遂に高利の金融も厭はざる次第にて其高き者は八步割一の高利を以て契約せらるゝ者ありと云ふ

▲解決問題と民會　當民團にては近く民會を開會し愈決行する事となり居れる平壤に於ける鐵路開鑿下水道敷設工事に對する經費の一部に充つべき民團債二萬圓募集と及び過般撤廢する事となりたる商業會議所建物讓り受け等に關する件に就き議決する所ある筈

◎新刊紹介

▲わか草（沼田笠峯著）小女小說と三十二打たれて家庭及學校に關する小話十二篇を收め小女の柔らかな心に善い感化を與へるといふ目的を以て書かれたるもの熟讀の上許するつもりなるが先づ紹介して置く（東京神田猿樂町龜久館三十五錢）

▲釜山商業會議所月報　第一號七月二十五日發行（一部十錢）

▲新半島　第六卷第三號八月一日發行（京城大和町二同社一部二十五錢）

▲實業の世界　七卷十七號九月一日發行（東京芝區三島町二同社十二錢）

講談

大岡政談　越後傳吉　旭堂南陵講

第六十五回

父「デこの男の首と女の首を斬つて、死骸は庄藏とお梅といふ事にするんだ何しろ幸ひ郡奉行の黒崎伴右衛門はお前も知つての通り乃公の娘の婿、今晩の裡に伴右衛門をば好い鹽梅に乃公が籠絡込んで、傳吉がお前とお梅の二人を殺したさいふ事にし、彼方を處刑に上げてしまひ彼奴の家を闕所といふことにする、すりやア庄左衛門は掛兒二人を殺されて可哀想であるといふので、傳吉の家の財産はみな乃公が貰ふ、金子も澤山持つて居る、爾うなりやアろの田地田畑は好い鹽梅に賣り拂ふて、村の體裁は死だ悴や嫁の菩提を弔ふといふやうにして、お早と二人で江戸へ行つて、お梅やお前と親子四人が江戸で暮す、ナーニ金子さへありア何所へ行つたッて氣樂なもの何うだ庄藏　庄「ナール程、此奴ア好イ工夫ですな、それにして、阿父さん、然ういふ工合に巧く行きませうか　父「ナーニゆく／＼郡奉行は乃公の婿だ、伴右衛門さへ手に入れたら造作はないお前達二人は巧く身を隱したら宜いのだ、併し居所が決まつたら知らしてお呉れ、ナーニ急でなうても傳吉が處刑に上つてからで宜い　庄「ぢやア阿父さん萬事頼むよ　父「宜し、庄左衛門に委せ　庄「頼みますぜ　父「ヨシ／＼　庄「ぢやア首を斬りませう　父「首を斬らう……僅かな間に出來上つた惡事の魂膽、全く卜齋の易が中りました、忽ち湧いて出た傳吉の災難庄左衛門父子二人の首を斬落してゴウ／＼と流れて居る水の深所を望んでパッと放り込んだゴッ／＼、ゴッゴーゴー首は何所ともなく流れて行く　父「サア構はね、早く行つて呉れ　庄「それぢア阿父さん願みましたと庄藏はお梅の手を把つて、その儘急いで泉河原の水を渡つて何所ともなく遠ざかり行く、後見送つて庄左衛門ホット一息、自分の穿て來た草鞋を脫いで、溜つて居る血汐の中へその草鞋をベタ／＼と突込み、それを手に提げてチク／＼傳吉の宅へ來て、裏口の堀の所にベタ／＼と血の足形を二ッ……何しろ百姓家の裏ですから、雜なく垣根をば押破り、傳かの堀を乘越ねて傳吉の宅の庭へ入り飛石の所へベタ／＼とまた血の形を二ッ三ッ捺して置き、マヅこれで宜し、密かに我屋敷へ駈歸り、足を洗つて衣類を着更へると直ぐにお早にも話しをする、何しろ斯のお早といふ奴大淫婦大惡婆なんだから　早「結構だよお前さん、確乎お遣り、ナーニ郡奉行が手の裡にあるんだから安心なものだ、庄左衛門と顏を合はすのは當然、直ぐに高田の城下郡奉行黒崎伴右衛門の方へ來ました、伴右衛門は女房との間に子供が二人まである、丁度寢酒を召食つて今お寢みになつたといふばかり　女「モシ、貴郎、貴郎　伴「アヽ、何ぢや　女「父の庄左衛門が參りました、急にお目に掛りたいと申して居ります、切望合ふて還つて下さいますやう　伴「アヽさうか、舅が來たか、ヨシ／＼今面會をすゝ、伴右衛門衣類を手早う取更へて立出こと、一室には庄左衛門テンと座つて待て居る　伴「アヽ老人、能う見ゑられたナ、何事ぢや急用でも出來いたしたか　庄「ハイ、一寸庄左衛門お願ひがあつて參りました　伴「アヽ左樣か何等の儀である、懇意の間柄ぢや遠慮しないで　庄「ハイ、誠に貴下樣へ斯う云ふ事を願ふのは筋の違ふた儀でござりまするか、モシ、この願ひを聞て戴きませねば庄左衛門の身が立行ませぬやうな次第……　伴「ムヽ、何う云ふ次第でござる　庄「御承知の通り傳吉の間柄の一條、イヤもう村方の奴が私をば犬畜生のやうに申しまして、戸外さへ歩くことが出來ません　伴「フム　庄「庄藏と相談をして、實は今晩斯う云ふ次第、と思ひも寄らぬ人殺しの顛末をば落もなくズッと物語つた



廣告

東京電報

▲**載洵室蘭視察** 載洵殿下は横須賀海軍工廠の視察を終り明日横濱出發北海道室蘭に向ひ日本製鋼所を視察せらるゝ事に豫定變更せられたり(同上)

▲**本年の米作豫想** 農商務省の調査に係る本年の米作豫想は四千八百七十二萬五千五百九十七石にして昨年に比し七歩一厘の減收とし又平年作に比すれば六厘の減收とす減收の重なる原因は各地に蟲害の發生も其一因なれど關東地方水害の影響其の重なるものなり(同上)

▲**大浦農相の歸京** 東北各地の產業巡視中なりし大浦農相は今三日歸京官民の出迎盛なり(三日)

▲**故梅博士の光榮** 天皇陛下には今三日梅法學博士の葬儀執行に就き特に侍從を差遣し祭粢料二千圓を下賜せられたり(同上)

▲**八月の外國貿易** 八月中の輸出價格は千二百十八萬八千八百六十七圓にして輸入品價千百十萬九千四百二圓にて輸出超過百七萬九千四百六十五圓となれり(同上)

▲**遞相の全線視察** 奧羽線復舊工事視察を終へ歸京せる後藤遞相は更に五日東京出發山陰山陽兩地の狀態陰陽連絡等に付踏査し尙ほ來議會開會迄に四國九州にも出張の豫定なり(同上)

▲**大浦農相の參內** 本日陸路歸京せる大浦農相は直ちに參內陛下に拜謁仰付けられ日英博覽會の經過其他歐洲の政況に就て奏上し尙種々御下問に奉答し優詔を賜はりたり(三日)

▲**首相宮相の協議** 渡邊宮相は今三日桂首相を訪問し宗秩寮朝鮮人恩賞に關し長時間協議する處ありたり(同上)

▲**日糖事件最終公判** 日糖事件並に瀆職法關係事件は漸く數日前控訴院檢事局より一件記錄を大審院に送りたれば同院の公判は早くも本年末ならん(同上)

雜報

座礁英艦の最後

英國艦隊及び帝國海軍の手にて協力救助中なりし英國ベッドフォード號は岩角深く艦体の內部に突入し且附近の潮流非常に險惡なるより遂に救助を斷念するの已むなきに至りウインスロー司令官と協議の末北野大佐の指揮する我救助の大部分は軍艦和泉、旅順丸、芝罘丸等と共に現場を引揚ぐることゝなり[illegible]は重量物、兵裝等を[illegible]四艦を率ゐ一旦吳軍[illegible]引續き漸次艦隊一部[illegible]せなりと尙は右座礁[illegible]排水量四千八百噸速力[illegible]一等艦ニューキャッスル[illegible]の命を受け近日本[illegible]加はる筈にてハーバ[illegible]名の座礁艦乘組員全[illegible]引揚げたりと

租稅減免と東拓

今回煥發せられたる租稅減免の詔勅は各地共に鮮民の洪大なる恩の感泣せざる者なかるが東拓會社に於ては[illegible]として減稅の恩典に浴し上るを以て此際聖[illegible]興に浴する減租金全[illegible]作人を其聖澤に均霑[illegible]小作料收納の際に於て[illegible]作人に分給することゝ[illegible]所に通牒したりと

漁業免許の進捗

漁業法實施以來同法に基き出願したる者免許漁業に於て八千七百三十七件に達し審議の結果許可ありたる者七百十八件に及べり又許可漁業に於て受理件數七百七十一件の內許可されたる者六十八件あり今其內譯を見るに次の如し

△免許漁業の部

	受理件數	免許件數	不免許數	調査中
日人	三、〇八〇	二六六	一三六	二、六七八
朝人	四、〇〇三	三四八	八七	三、五六八
日人及び朝人の共同	一、五七〇	一〇四	九八	一、三六八
朝鮮人團體	八四	〇	〇	八四
計	八、七三七	七一八	三二一	七、六九八

△許可漁業の部

	受理件數	免許數	不免許數	調査中
日人	六六七	六一七	二	四八
朝人	一〇四	七二	一四	一八
計	七七一	六八九	一六	六六

文官試驗の合格者

本年八月二十三日より統監府に於て擧行したる文官普通試驗合格者左の如し

片岡善太郎 高橋富藏 阿部文雄 飯塚照雄 米倉榮二 下田安雄 川崎一郎 西猛美 大藤久 沖野來藏 金原良助 井上勝太郎 岩淵孝三郎 安東千國 佐伯新 勝田權三郎 下田伊賀入 北山雄造 宮川長助 中橋政吉 里見綠太郎 井上貞一郎 堤敏夫 小林義博 田口春二郎 鹽島豐秀 中野雄吉 高田太一 神宮與太郎 宮本達也 仁田定直 久坂龍治郎 鎌田直助 浦田仙造 市野澤酉之助 島田繁之助 小湊榮一 石谷寅三 雪島隆次郎 瀨崎壽太郎 大西進一郎 松本彥吉 松尾甚一 榊原諭吉 藤井磐 片山熊男

併合と帝國海軍

日韓の合併に關しては帝國海軍に於て差當り何等の影響若しくは新計畫を樹つるの必要なきも朝鮮が確然帝國の領土に歸せる以上現在の永興防備隊及び鎭海灣要港の經費支出の形式其他に多少の更改を加ふる筈なりと云ふ因に昨今朝鮮沿海にある艦艇は艦隊境界雄基灣に第二艦隊の主力八雲(島村司令長官坐乘)沖島、見島の三艦及び仁川に同艦隊の淀あるのみなり

外人の土地所有權

朝鮮は合併し得るも外國人の有する既得權は全然侵害せざるを以て從來朝鮮に於ける外人の土地所有權は何等侵害せられざるのみならず今後と雖も從來通り許可する由なるも右は法令の明示する處に據るに非ず唯複雜なる手續の結果にして決して完全なる土地の所有を許可する意味にあらざれば將來は本邦の外人土地所有權法に基き別法の制定を見るに至るべしと某當局は語れり

浮標碇置位置變更

關稅局告示第百十九號を以て韓國西岸群山浦龍堂江に碇置せる第三號浮標及第五號浮標(告示第九號第九十四號參照)航路の變化に依り左の通り位置變更せり但構造及着色等は從前の通り

一 各浮標より測定せる磁針方位及大低潮時の水深左の如し

第參號浮標位置 △甲立標正西△有父島北五十三度東水深二尋△烏島南二十二度東

第五號浮標位置 △甲立標南八十五度五十分西△有父島北三十八度卅分東水深二尋△玉女峯南二十六度十分東

▲注意 第三號浮標位置より第五號浮標位置に至る間の澪筋は航路の北側に擴定せる砂洲擴大せん爲めに南方に偏位せるを以て湖江船舶は第三號浮標より第五號浮標に至る間を一線に保ち且極めて兩浮標を左方に近く見て進航す可し尙該航路の出入は滿潮三合以下に於てせざるを安全とす

統監府廳舍の增築

目下統監府構內に增築中なる廳舍は日夜督勵して工事を急ぎつゝあるが總建坪百八十坪にして總二階なり然して竣工は來る十月一杯を要する可く竣成の曉は無論總督府廳舍たらんが何分狹隘なるを免れず永遠の廳舍としては到底不可能なれば早晩總督府建設地を撰定せらるゝに至るべしと

全羅北道水害狀況

二日全羅北道警察部長より其の筋に達したる報導によれば順天附近は八月三十一日の降雨にて出水甚だしく一時交通杜絕せり邑內にて浸水家屋八十餘戶流失家屋六橋梁流失一溺死男一其の農作物の被害多しと

軍用地問題の交涉

古城民長は三日午前軍司令部に小倉經理部長を訪問軍用地問題に關し交涉す

龍山郵便局爲替高

龍山郵便局八月中爲替取扱高左の如し

	枚數	金額
發送	一、九七八	六三、一六六、三一
受入	八一五	一九、二七七、九〇

辭令

八月廿七日左の通辭令あり

依願免本官 道書記官 永田幸太郎

任道書記官叙奏任官三等 大久保到

金允植氏の病氣

前中樞院議長金允植氏は一兩日來健康を害し自邸に引籠り訪客には病床にて面接し居れりと

大久保到氏任地

別項の如く元龍山民長大久保到氏は道書記官に任せられたるが任所は忠淸北道なりと云ふ

經濟小言

治道問題に關し

▲合併已に成る、新總督府の爲すべき事千を以て數へん、而かも就中急を要するものを治道となす。

▲治道、寺內統監は已に已に其急務たることを認む、而かも聞くところに因れば統監は現下技師に命じて完全なる治道案を作らしめつゝありと。

▲統監の覺悟斯くの如し、余輩亦何をか喋々せん、只此機會に於て統監の一考を請はざるべからざる事之れ有り、丌は勿論治道に關してなり。

▲故伊藤統監內部に治道局を設け有名なる中原技師を聘して治道に長たらしむ、中原技師身自ら各道を踏査して一の治道案を立て、之を遂行するの費用を二千萬圓と算す、藤公遂に中原案を納れず、中原技師亦た業を收めずして去る。

▲二千萬圓之を半島經營中主要事業の費用となす、決して多きに過ぐと云ふべからず、而かも不幸政府にして支出に堪ゆ得ずとするか人夫徵發其他便宜の方法もなきに非ず、思ふに費用の問題は末のみ要は治道の能力如何にあり。

▲統監府設置以來地方に道路の新設せられたるもの幾百哩と稱す、而かも其多くは所謂軍用道路にして產業道路に非ず、軍用道路、其の延長は治安の上に於て必要なきに非ず、而かも合併後の今日に於て之を必要とする程度の減少せる者より言を俟たず

▲十五間幅の新道元の南韓に造らる、政府之を稱して模範道路と云ふ、一部に孤立せる模範道路他に接續なくして用を爲さず今や徒らに霖雨の崩潰に委せらる。

▲軍用道路、模範道路、今日に於て之を要せず、要するところの者は實用に適する產業道路之れなり。

▲聞く統監府は其治道方針として始より產業道路を重んず、而かも一方に軍隊の軍用道路を要求するあり、其主張に曰く之れ軍事上に必要也と。

▲軍事上必要なりとの一語は文官集團の統監府を辟易せしめ、其方針をも變へしめたり、其結果として現出せしものは產業に關係なき軍用道路其物なり。

▲今や上に寺內將軍あり、將軍の前には軍事上必要の一語は左程重きを爲さず、將軍にして之を納れんとすれば納れ、排せんとすれば之を排す。

▲聞く將軍は半島開發の第一着事業として產業道路の新設に決すと、之れ天來の福音なり、余輩は將軍の手の片時も早く實地治道問題に觸れんことを望む。

菊池博士の免官

大韓醫院長醫學博士菊池常三郎氏は八月廿七日付依願免官となり同時に同醫員內田徒志氏も免官となりたり

朝鮮側各銀行株

漢城、天一、農工等朝鮮側の各銀行株は從來朝鮮人に限りて所有を許されたりしが合併の結果今回內地人にも所有を許さるゝこととなりたるを以て各銀行株價は二割方騰貴したりと報せらる

龍山印刷局廢止

十萬圓近くの年額損失を國庫にて負擔しつゝ維持し來りたる龍山印刷局は合併の結果財政整理を必要とする今日其維持は寧ろ無意味となりたるを以て總督府官制發表と同時に廢止閉鎖せらるゝことゝなるべしと云ふ

咸南地方降雨被害

去八月十五六兩日の豪雨にて破れる咸南地方損害の狀況は行衛不明者一人家屋崩壞六戶同浸水三十七戶田畑流失千三百三十二反此見積額一萬千二百四十四圓破壞一四堤防破壞二十五橋梁流失四同破損七にして損害額は三万六千百三十圓是に農作被害を加ふれば四万七千三百七十四圓となる就中元山港は海岸波堤損害のみにて八千四百圓同浸水は家屋二百六十五戶に達せりと

鎭南浦の電氣計畫

平安農工銀行[illegible]浦各國居留地會及び原田鐵策氏外數名の發起にて今回鎭南浦電氣株式會社を創立するに決したり其の計畫の內容を聞くに資本金十五万圓(三十圓株)にして電燈及電力の供給電氣に關する機械器具の販賣貸貸を營み株式申込期日は八月二十五日より九月五日迄でとし第一回株金拂込額は十二圓五十錢にして期日は十月五日迄なりと因に同社にては今年中に工事を完成する豫定なりと

仁川民會決議事項

仁川民會は二日午後八時開會出席者青木、加藤、初田、市川、竹田津、奧田の各員出席經更豫算及常設消防夫九名を置く事に決し一箇年に各國居留地よりは五百圓朝鮮側より三百六十圓消防居留地よりは設置費として一時三百五十圓を寄付せしめ消防夫奬勵方法は特別功勞ありし者には木杯又は銀杯を與へ組頭十年以上勤續の者には右の外賞與する事を追加し同十一時閉會せり

關釜聯絡船の新造

鐵道院にては韓國併合れおよび安奉線改築等により旅客貨物の激增を豫想し來年度にたいて關釜聯絡汽船二隻を建造する計畫あることは既記する所なるが右新造船は總噸數を三千噸とし大體の構造は義勇艦隊の梅ケ香丸式とし(但しタービン式とせず)其建造費は未定なるも一噸三百圓の見込なりと云ふ

韓銀大阪支店開業

韓國銀行にては既報の如く大阪に支店を新設するの準備中なりしが愈々來る十二日より業務を開始する事に決定し市原總裁は去る一日大阪に赴き新任支店長高橋久米吉氏と共に二日より三日に掛け同地有志者を招待して盛なる披露宴を開催せりと云ふ

洛東江出水と被害

客月中の霖雨にて慶尙南道洛東江沿岸出水し田畑浸水四百四十七町歩にして此の農作物被害見積高十六萬五千九百余圓なりと

市原總裁の歸任期

目下大阪に滯在中の市原韓銀總裁は來五日午後八時十分南大門着歸京すべし

松永師團長の巡視

松永第二師團長は五日出發北韓巡視の途に就かるべしと云ふ

公人私人

▲村田虎次郎(代議士)二日平壤に向ふ
▲宮澤員也(判事)二日定州に向ふ
▲牟田熊彥(一等軍醫)二日仁川行き
▲渡邊鐵次郎(滿鐵社員)二日新義州行
▲堀池常作(辯護士)二日入京巴城館
▲小山七郎(銀行支配人)二日不知火へ
▲吾孫子勝(高商教授)二日入京浦尾へ

各地の工事狀況

▲**京城工事不振** 工事としては統監府廳舍の增築及鐵道管理局官舍增築の地形に着手せられたるを始めとし東拓社宅建築用の製材に着手せられたるものある位に過ぎず隨つて例年に比し工事不振の方にて勞働者も多くは地方に分散せる模樣なれば一旦各工事の愈よ着手せらるゝに當りては勞働者の給合に困難を來たすを免れざるべしと

▲**仁川土工中止** 稅關埋立地に於ける小道路工事を始め建築工事には裁判所稅關煉化倉庫韓國銀行社宅等を重もなるものとせるも客月中雨天勝なりし爲め土工等は全く中止の姿にて其他一般工事も進捗せず不活潑なり

▲**鎭南浦工事進捗** 鐵道工事は何等故障なく進捗し建築列車の運轉開始され停車場及附屬官舍の建築工事は目下進行中にて本月中旬頃には竣功すべし其他小建築工事は相變らず盛んに見受けられ鎭港一部の埋立工事も漸次進行の模樣なり

▲**平壤鐵道工事** 目下工事期なる丈に鐵道、道路、建築、埋立工事孰れも旺んに進行の途にあり

▲**木浦の閑散** 水道工事已に竣工を告げ建築工事の點々見受けらるゝに過ぎざれば一般工事極めて閑散に隨つて勞力の需用尠少なり勞銀騰合みの方なり

▲**群山の土木工事** 太田江景間鐵道工事は太田より數哩進行しつゝあるも雨天續きの爲め工事の進行捗々しからざるが如し隆熙橋全堤間の道路改修及架橋工事全州塔橋間道路改修工事は共に進行中に在り而して臨益水利組合工事は過日來大雨の爲め多大の損失を蒙むり一時中止の姿に歸せり

▲**馬山の軍港工事** 馬晉間道路工事軍港地第一期工事市內橋梁架替工事等進行しつゝあり工業界頗る活氣を呈し新に土木建築の業に從事せんとする者多し

▲**釜山休止の姿** 先月來盛況なりし建築工事も停車場前驛平工事及埋立工事は孰れも霖雨の爲め殆んど休止の姿に期し極めて沈靜の狀態なり

▲**大邱十字道路** 十字道路開通工事は南西北の三方既に竣成を告げ目下下水工事中に在り東方の分も近々着手の筈憲兵隊宿舍監獄署料理店等の大建築工事も大部分竣成に近づき今や十字道路に沿ひ商家の建築頗る旺んなり

▲**安東縣の景氣** 雨季に入るも雨量比較的鮮少なる爲め安奉線鐵道工事は着々進行しつゝあり建築工事には同地停車場新築の外居留地內に借家の新築せらるゝもの弗々見受けらる

京城手形交換高

九月	金高	枚數
三日	九九、二二二、八九	二三五

仁川米豆取引所

▲前場(三日) 十月一節九圓三錢▲二節九圓五錢▲三節七錢▲一方出來高六百石▲十一月一節八圓三十錢二十錢二十錢二錢三錢四錢三錢二錢九錢八錢九錢二十錢十九錢十錢八錢十八錢五錢六錢八錢二十錢一錢二十錢二十錢十七錢▲二節十七錢八錢九錢八錢十七錢十八錢二十錢七錢▲三節十七錢八錢七錢九錢二十錢十九錢▲一方七千五百石▲後場 十月限 一節二節出來不申▲三節十四圓九錢▲出來高百石▲十一月限 一節八圓二十五錢七錢五錢三錢三錢四錢四錢五錢六錢▲二節二十五錢四錢三錢三錢四錢三錢▲三節二十二錢一錢二錢二錢三錢▲出來高三千五百石

大阪期米電報

▲前場(三日) 九月限寄十三圓六十五錢▲十月限寄八十五錢▲十一月限寄七十八錢
▲前引 九月限止 十三圓七十錢▲十月限 十三圓九十一錢▲十一月限 十三圓八十錢
▲後場(三日) 九月限寄附止 七十一錢▲十月限寄附 九十九錢止九十三錢▲十一月限寄附 八十四錢止七十一錢

仁川港出入の船舶

▲獨逸汽船 四日上海青島を經て入港

治外法權

▲寺內統監曰く半島は帝國の屬邦にあらず、帝國其物の一部なりと、國化主義統治法の要之より超る▲併合發表後朝鮮人の今度の事を喜ふものゝ多いのは事實の樣だ、併し某氏の說によれば朝鮮人の新政を喜ぶサマを裝すのは彼等保護色發揮の致すところだと、某氏の說全然は而かあらざるべきも幾分かはホントーの樣な氣もする▲保護色の發揮ソレは一寸考へるとヅルイ樣にも思はれるが深く考へると當り前の事だ、彼等の國土が日本になつた以上彼等自身が日本臣民たらんことを勉めるのは彼等の生存を維持する唯一の途だ、保護色も年數が經過すれば本物になる、ヅルイなどとヒヤカスのは可哀相だ▲一進會が解散したとか、せぬとか、ソンな事はドウでも良い、併し過日も云つた通り宋秉畯の功勞は大に認め且つ賞してやらねばならぬ、三十九年彼れは李逸植事件に座して入牢した、其後ち出て來た彼れは政治運動を斷念して百姓になるところであつた、ソレを或人が激勵して一進會に踏止まらせ伊藤公に接近せしめて其後の仕事をサせた、彼れと李完用とは一長一短何れを劣れりと云ふべからざる同功の人だ、李と彼れとが同待遇を受けるのは勿論の事だ▲古い朝鮮屋で今世に生き殘つて居るのは井の角一人だ大井馬城は乞丐同樣、岡本柳之助は假裝の發明、其餘は言ふに足らずだ▲去年合邦問題が起つてから我邦新聞紙中始終一貫合併論を主張したのは時事新報一トつだ、天下の出來事は後から見れば何でもない、併し先見の明を有することは至難の事だ、時事は福澤翁の遺業、流石に後わりせ賞すべしだ▲南大門から半里許り麻浦街道に出る道の左側に[illegible]農村講習所と云ふ看板をかけた百姓屋がある、其近くの小丘に鳥居がある、ソレは尊德翁を祀れる二宮神社だ、道理で此附近の畑は手入れが良く屆いてある。



百日咳の大流行

▽父兄の注意を要す

近頃當市内に百日咳が流行つてその勢ひ頗る猖獗、今は全市に蔓延して行く右につき專門家の説を聞へ痲疹の方は三ヶ月ほど以前は甚しかつたが近來は餘程下火になつたその代り百日咳の方は或は倘**これ以上**にまだ**流行**するかも知れない兎に角都會の事だから此種の傳染病は四季を通じて始終あるもので、何も此頃に限られたものではない「一体百日咳、痲疹等の傳染病は**小供**が**學校**から**持**つて**歸**つたり子守に負はれて寺院其他に集まつた處から傳染たりするものだがつい先日迄は夏休みで比較的そんな機會から病氣を受けたものはないが、愈よ**九月一日**から**學校**が**初**まつたから此れからは其處で此病を受けるものが大變多くなるだらうと思ふ兎に角家庭で注意すべき事は小供を幼稚園だとか學校とかへ遣つた時に其**父兄**が互に**公衆衛生**を重んじて此の種病症あるものを輕視して放任しないようにする事だ一人の同病者が學校に出るとすると必ず誰かに其病が傳染する之が段々と蔓延して甲から乙、乙から丙と次第々々に患者が殖へるものだから之は唯一人の注意ではいけない總ての人が注意して**他**に**迷惑**をかけぬやうに心がくべき事だ、元來醫學博士仲間の意見として同病患者が若し市内居住者ならば直ちに**轉地**させて新鮮な空氣を吸はすに勉める若し事情によつてそれの出來ぬものにはなるべく**外出**して**惡**い空氣を吸はさぬやう風呂へも入れぬやうに注意する然し轉地したものはそれと反對に自分の好きなやうに戸外の運動を取らせ充分**放任主義**を採つた方が好成績で期うすると普通六十日の經過を要するものが三十日で全治する而してよく之れは**餘病**が**併發**するものだからそれに注意しなければならぬ、只百日咳ならば頻りに咳嗽して時には嘔吐を催し段々痩せて行くやうな病状を呈するものだが若し之に伴つて**熱**でもあると**不可**ないさういふ徴候があればそれは他に氣管支加答兒か肺炎のやうな**呼吸器病**を併發してゐるのだから直ちに手當を加へぬと取返しのつかぬ事となる餘病が併發すると經過が長びくばかりでない遂に**一命**にも**關**はる事であるから、良く〜注意すべきことで大体世人は一般に百日咳を輕く見る惡い癖がある小兒の時にこの病に罹つて**全治**させて**置**かないと**成長**して**後**も**肺病**の如きものを發し易い殊に此病は**病源**はバチルスであるか何であるかと云ふ事がまだ**判然**して**ゐない**ので醫師は各人各箇殆んど百人百色に藥の盛りやうが違つてゐる從つて百日咳に**特効藥**が**ない**といふ事も證據立てられる、だから藥餌よりも**自然療法**を重んじて新鮮なる空氣のある處に轉地させるのが一番良いやうに思ふ」との事である。

白糸女郎の本音

▽夫れ程思つては居ないワ

昔花のれ江戸は青山百人町の鈴木主水と云ふ武士は女房れ安との間に子供の二人もある身を以て新宿橋本樓のれ職女郎白糸の色香に溺れたるより浮色を警者女に唄はれたるが今は熊本縣玉名縣横島村生れの林某は本町一丁目の小川法律事務所の事務員として雇はれ中より獨立して代書業を開業せる現在に亘りて新町遊廓は大桝屋のれ職女郎の白糸と云ふに惚けて三面子の筆にかゝりて其の不檢束を唄はるゝころ淺間しけれ、なぞと一番眞面目がつて扱本文に入り申さんに此の白糸と云ふは神奈川縣鎌倉郡は保土ケ谷と戸塚の間の宿川上村田吾作の娘にして本名を並木いちと云ひ本年芳紀正に二十四の女郎盛りなるが去る明治四十年八月前記大桝屋に抱へられたる以來好きこそものゝ巧手なれで間もなく相當に馴染客も出來たるが其の色の青味がゝつて白い所と西瓜を食ふのに都合の宜い口許に神ぞ命と打込んだのが前記の林某なりされば白糸も其の眞情に絆されていとし可愛と思ひ染めては浮氣ならぬ戀に焦れて二た夜と見ねば御飯も輕く五拆位しか食べられず三日目は朝から男の假色使ふて四十一番を呼出しては對手の聲を聞いて嬉しがるなんど未通女の昔に返つて騷ぎ立つる程なれば元來自分の方から打ち込んだ男の熱は非常にて成らぬ苦面や出來ぬ算段も仕盡して毎月十五回位は登樓し居たるが他人の家に働いて居ては思ふ如にならずとあつて扨こそ代書屋を開業したるものなるが兎角思つた如に行かぬが浮世で小川君所に働いて月給の外に帆待ちを摑み込んでた方が遙かに收入があつた譯に斯んな筈ではなかつたがと思案投げ首頻りに考へ込んで見たが無い知惠の出樣筈なく出るものは溜息計り其の溜息が凝つて此所に不良事を企まんとするに至り龍山の某が刑事問題を惹起して困つて居るを奇貨該事件を引き受けたるも自分では何うすることも出來ざるより此を同業者衛藤某に依頼したるも同人は夫れは惡いと注告したるより林も少々目が覺めたるも靴て餘りに白糸への注ぎ込み方が劇しいので不審と目を付けたる刑事係り今は猶豫ならずと拘引せんとせしも内輪にて示談すべき模樣あるより見合せたるも今に至るも未だ落着せざるに林は相變らず白糸の許に通ひつゝあるも一方衛藤よりは其の解決を迫り來るより惡人ならぬ林青息吐息で頭痛鉢巻きで居ると云ふが白糸も今は八月二十七日限り年の明けた身体を少し殘つた借金の爲め稼いで居るのだから一ト思ひにモウ二三年年期を増して何んとか爲て行つたら宜らうと云つたら夫れまで惚れては居やしないワとこそ申しけり芽出度し〜

社告

併合記念號發刊

發刊に關する詳細は追て社告す

京城新報社

養女取戻し事件

▽龍山署にて目下保護中

福岡縣門司市内本町二丁目三千百十番地伊藤はるなる者は實子相續する者なき爲め大分縣速見郡別府南町新田泰十郎の娘たけよ(十七)を養女として賤業を爲さしめざる約束にて貰ひ受けしがはるは仲々の多情者とて情夫を幾人も持ち變へ之れに打ち込みたる爲め多額の負債を生せしにぞ或る惡漢と共謀して養女たけよを龍山八景園に三百五十圓の前借にて住み込ませはる同道渡來したり然るに實父泰十郎は此の事を聞くや大に憤慨して伊東はるを相手取り管轄裁判所にたけよの養子緣組取消の訴訟提起せしに付該判決の確定に至る迄は現抱主よりたけよを他に住替へさせぬ樣龍山署に保護願出に付同署に於て其の取斗中の由なるが不埒な養母と云ふ可し

人夫賃金の騰貴

▽併合當然の好影響

從來朝鮮人勞働者は日本人に比し賃銀廉價なりしも今回の併合と共に彼等は揚言して日本人たる以上從來の低廉なる賃金にては滿足する能はずと俄に騰貴せるも面白しからずや

●**追刑未決囚放免**　京畿道揚州郡揚州邑居住韓元泰(三八)は昨年六月六日内亂罪を犯し憲兵隊に逮捕せられ京城地方裁判所に於て流刑十五ヶ年に處せられ古郡島に於て服役中十二月二十二日逃走し本年三月二日逮捕せられ更らに懲役二年笞刑百五十に處せられ不服控訴申立京城控訴院に於て審議中の所今般の大赦に因り三日深澤檢事は檢事廷に呼出し無窮の皇恩に因り放免せらるゝに付大赦の理由より詳細訓戒し直ちに正業に付き改悛す可き申聞せしたるが被告の元泰は感泣して全然改悛して正業に付く可き旨誓へりと

●**鐵札か銀札かッ**　岡山縣生れ岡野榮(三二)は二日午後七時紐峴停車場前を徘徊する擧動不審故注意中本人は龍岡町派出所に來り所持品の證明を願ひ出でたるに付取調べたる處去廿一日岡山出發廿三日釜山上陸廿七日仁川へ上陸したる旨申立たるも言語に曖昧の點あるを以て擧動不審として引致せり

●**麥酒と四錢五厘**　北部小安洞八統七戸安景烈(十七)は九月一日午後十一時三十分頃南大門三丁目四番戸浪花市太郎方店頭にありたるビール一本を竊取し南大門外道川橋洞鍛冶職金振浩(二七)は午後三時頃京城倭城臺大神宮の賽錢箱を覆し金四錢五厘を竊取し南部署に引致されたるも訓戒放免

●**仕事嫌な二人男**　京城南大門通り三丁目メリヤス商瀬戸茂吉方職人眞鍋元一(三〇)、染物職萬年謙吉(三五)二人は去月三十日龍山憲兵分隊梧柳洞出張所附近に於て他人に金品の合力を乞ひつゝ徘徊中を憲兵に怪しまれ取調の結果無斷家出したる事判明せしに付不心得を説諭して放還せらる

●**新案韓語集**　同書は學部飜譯官玄𨯶氏校閲普通學校敎監笹山章君の著なるが語法の説明、配列、分類等日本語法に則りたれば記臆に難からず僅々にして習熟し得べしと云ふ裝釘頗る美一冊八十五錢發行發賣元は本町三丁目平田善太郎商店なり各地書籍店にて販賣すと

●**竊盜**　龍山本町二丁目百八番戸時計商鹽谷秀三郎方には一昨二日午前一時より四時迄の間に於て寒暖計一個時計四個眼鏡一個(代三十八圓四十錢)を竊取せられたる旨龍山署に屆出に付目下犯人搜査中なりと

●**投棄**　仁川栗木洞七統一戸金贊敬の販賣する眞瓜二十二個は腐敗に傾き居るを以て投棄せしめたり

●**仁川敷島の遊客**　敷島二日の遊客數二十八人にして費消高九十九圓五錢

日曜集會　九月四日

●日本基督教會(旭町四丁目)午前九時より日曜學校同十時より禮拜説教
神の意識　大谷牧師
右終りて午後八時よりは傳道説教
方丈記と傳道書　同上

●メソヂスト教會(旭町二丁目)午前九時より日曜學校及び聖書研究等あり午前十時半よりは禮拜説教
雲の柱　木原牧師
右終りて午後八時よりは傳道説教
信仰の時期　同上

●京城基督教會(日の出町)午前八時より日曜學校同九時より禮拜説教
教會の使命　米澤牧師
右終りて午後八時よりは傳道説教
實在の信　同上

●臨濟寺の微笑會(初音町)例に依り圓山太嶺禪師の無盡燈論提唱ありと

目と耳

▲**壽座**　合同劇四日及び五日の代り狂言左の如し
▲四日の分　『松竹梅』三場『廓のかゞや』三場『寫實小説』二場『命の身替り』四場
▲五日の分　『上等』二場『百十一兩一分一朱』四場『乳姉妹』三場『稲荷の仇討』二場

●**廣八一座總評(上)**　▽慈善興行中の分

當地浪花館にて久しく興行中の廣八一座は館主の相談に應じ去る三十日より關東地方水害罹災救恤の目的にて慈善演奏を開催せしは同胞に對する同情の厚き正に歎賞に値ひす然し由來比較的慈善心に乏しく我利之れ厚き京城と云ひ特に閉演中連日の暴雨にて聽衆の案外に多からざりしはれ氣の毒の外なかりし去れども一座懸命に演めたりしは多とすべし斯心を以て藝に身を捧ぐ以て人氣を失はざる所以か、當日の演奏振りをマクリ付くれば此重までは例の通り無難▲此千代の寺子屋は糸越春にて段切り「いろは送り」は先づ難なく二日目志渡寺は割合に好かりし三日目彦山毛谷村は六助を條行すべしれ園の「くどき」は物足らぬ、夫れに變動即ち床の上の行儀に注意すべし、越春の糸は思ふたより好く彈くが沈痛の音色である畢竟此人の性格に依るものか、讚は義太夫も相應に語るが彙て三昧線も勉强し玉へ將來の眞打を冀圖せば是非とも兼備ならざるべからず御注意までに一言す(翠城生投)

●**大島太夫の開演**　今回大連より大阪への歸途仁川歌舞伎座に乘込みたる大坂堀江座の義太夫大島太夫一座は二日初日を開演したるが人氣なるが僅に三日間の事なれば毎夜滿員の盛況を呈するならん

▲平民文壇▼

▲公平生よ、文官普通試驗問題が漏洩せりとて憤慨し且つ確證を有すと云はるゝが確證あれば提供せられよ然らざれば予は落第者の世迷言として見るの外なきを恐る第一統府監員の大部分が首位を占めたりと云ふことは漏洩を證明するものとは云へぬよ(係)▲拓殖會社製圖課○子さん甘く僞りて債務を免れたね俸給差押を救ふて貰ひながら恩に報ふるに仇ですね彼れは元は大阪で義侠者だ餘りの事をすると詳細素破抜くぞ(又聞生)▲死ぬると云ふ人に死んだ人がないスッパ拔くと云ふ人にスッパ拔いた人が未だ曾つて一度もないのが不思議だ(小僧)▲編輯小僧子に御指示を乞います生は書籍を買ふにも無一物の貧書生です當地に京城文庫と謂ふ圖書館が有るそうですが其所在と入場料とを紙上で御示を(青雲兒)▲西小門外の官舍に何んだか知らん頗る獰猛で出入りの商人や見馴れぬ人には咆へ付く計りか遠慮なく噛み付く犬がある雇人も追つ蒐けられた何んとかして欲しいものです(一商人)▲本社に云つても仕方がない、が併し夫れは事實だ本社の集金係りも咬み付かれたので直ちに西小門傍の派出所に屆けて置いて昔醫院の手當を受けた相だから君の投書を見ると直ぐ西部署に其の後何うされたか聞き合はしたら管轄違ひだから南部署に移牒して置いたと云はれた孰れ其の内何うかされるだらう全体其樣な犬が居ると知りつゝ通行又は訪問するのが惡い……狂犬ではないらしいが食い付けられると痛いことは代りがない相だハヽ(係)▲此の係奴他人の事だもんだから暢氣なことを云ふ自分で食い着かれて見ろ(小僧)▲誰がクッソ(係)

今日の運勢

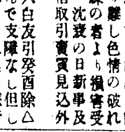
九月四日舊七月卅日七赤　赤口壬申建△一白　負傷及衛生注意すべし其他大概進んで吉△二黑　基礎を築くに適好の日起業開店談議婚談に吉△家庭上の煩累あり△三碧　轉倒齟齬に終り易し諸事控へ目の事貸借建築旅行尤も凶△四綠　新事旅行見合せの事盗失遺失防くべし農業商工に吉△五黄　組合連帯及保證事故障害進わり其他平靜△六白　轉業方針積極替旅行に吉其他平凡△七赤　契約談議婚談共同組合連盟の事離り離し色情の破れを戒しむ△八白　親疎の者より損害受け易し其他吉△九紫　沈衰の日新事及び旅行見合せの事貸借取引賣買見込外れに終らん

九月五日舊八月朔日六白友引癸酉除△一白　收効の日萬進んで支障なし但し不動産の事及婚談に忌む△二黑　旅行金談貸借婚談効無し其他平穩の日△三碧　新事旅行見合せの事衛生に留意すべし△四綠　賣買及金品授受取引に遣錯起り易し不和諍訟を戒しむ新事婚談見合せの事△五黄　面會委囑談判に吉兒女飼畜の事注意すべし△六白　心の動き易き日とす妄言誘惑に陷ゆる勿れ新事婚談旅行見合せの事△七赤　新事旅行見合せの事證券及取引上紛爭起らんとす△八白　家族從者の事係累あり起業開店移轉旅行談議請願に吉△九紫　他人のために勞する日とす尚盜失遺失防くべし新事見合せの事(本町五丁目三一舘判斷)

●**天氣豫報**(自三日午後六時至四日午後六時)

北西風曇後晴

二日(華氏)　最高溫度　七七、二　最低溫度　六七、一



日韓瓦斯電氣株式會社第四回決算報告

貸借對照表

資産之部

一、拂込未濟資本金 一、二〇〇、二〇〇・〇〇〇
一、興業費 七四〇、〇三五・六九二
一、營業費未決算 一二七、五五八・二三九
一、貯藏品 二九八、五三七・一九三
一、韓美電氣會社權利及不動產 一、五五四、九一五・四七〇
一、假拂金 四三、四〇五・五四〇
一、未收入金 三六、八六一・五七〇
一、有價證券 五七五・〇〇〇
一、銀行預金 三〇三、四八〇・八九〇
一、預託金 六九八・八八〇
一、現金在高 一、四九八・三八二
合計 四、三〇七、七六六・八五六

負債之部

一、資本金 三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
一、準備積立金 三、〇〇〇・〇〇〇
一、別途積立金 三、〇〇〇・〇〇〇
一、未拂配當金 四八・二七〇
一、借入金 八〇〇、〇〇〇・〇〇〇
一、支拂手形 四〇〇、〇〇〇・〇〇〇
一、預リ金 五、九五七・三三〇
一、假受金 三〇六・六四〇
一、未拂金 三一、三九一・五二八
一、前期繰越金 七、一四七・七六三
一、當期利益金 五六、九一五・三二五
合計 四、三〇七、七六六・八五六

損益計算

一、本期總收入金 二〇八、四八九・六五五
一、本期總支出金 一五一、五七四・三三〇
差引
本期利益金 五六、九一五・三二五
前期繰越金 七、一四七・七六三
合計 六四、〇六三・〇八八
内
準備積立金 二、八四六・〇〇〇
別途積立金 二、八四六・〇〇〇
役員賞與金 三、五〇〇・〇〇〇
株主配當金(年六分ノ割) 四六、五〇〇・〇〇〇
後期繰越金 八、三七一・〇八八

右ノ通リニ候也

明治四十三年八月

日韓瓦斯電氣株式會社

取締役會長 高松豐吉
專務取締役 岡崎遠光
取締役 久米良作
同 大橋新太郎
同 白石直治
同 山口太兵衛
同 白寅基

右調査候處相違無之候也

監査役 伊藤幹一
同 平澤道次
同 金時鉉

監査役任期滿了ニ付改選ノ結果前任者何レモ再選セラレタリ



脳病全治新藥
健脳丸
逆上・頭痛・脳膜炎・脳充血・通じ悪く總て脳病・神經病一切に驚くべき奇効あり
丹平商會本店
支舗 東京 丹平商會支店

診療開始

迂生儀今般大韓醫院を辭し左の處に於て外科患者を診療す此段辱知諸君に謹告す

鈴木謙之助

專門 一般外科
診察 毎日午前八時ヨリ正午迄
月水金午後四時ヨリ七時迄
休業 毎日曜日及大祭日
場所 旭町一丁目六十七番戸 日ノ出湯裏
鈴木外科醫院 (電話六九二)

新に塔館の料理人を入れ調理の面目を新にし季節々々の粋を凝らしたる目新らしき所を御試めし願上候
壽司、うなぎ、アイスクリームも同樣御高評願上候
壽町二丁目 電話九百四十四番地

食道樂

資本金五百萬圓

神戸海上運送火災保險株式會社

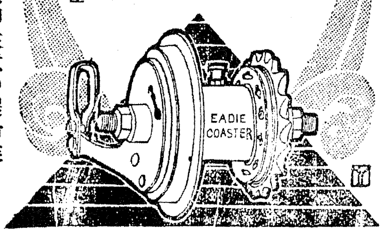
出張所 京城明治町一丁目 (電話一五四九)

蜂印香竄葡萄酒

本品は日本の標準葡萄酒として内外大博覧會より二十四個の金銀賞牌を受領せり



近藤利兵衛



商標 EADIE
イーデーコースターハブ
新荷輸着
自轉車用 英國製
イーデー三大特色
一 ブレーキ部ノ構造ノ完全ナルコト
一 運轉ノ極メテ圓滑ナルコト
一 形狀及仕上ゲノ高尚優美ナルコト
英國バーミンガム市ビー、エス、エー會社
東洋總代理店 東京 大阪 合資會社 二葉屋

市場にイーデーの商標なき僞造品あり御購求の際御注意の程希候

入院隨意
京城西小門通六番戸
菅醫院
電話一三一五番

御料理
京城旭町二丁目 公園下
電話一三九一番

美術、書畫、襖、壁、天井張、



京城壽町一丁目
桂萬吉 (電話六二七番)
同 岡崎町 矢島鐵工所筋向
桂龍山支店 (電話架設中)

開業五週年紀念大賣出し

謹啓時下殘暑の候四方御花主様益々御清祥之段奉大賀候降而弊店事毎々御引立を蒙り御蔭を以て日増し繁榮に赴き難有奉存候扨て當店開業正に五週年に相成候に付聊か微意を表する爲め九月一日より十月三十日迄向六十日間紀念大賣出を致し各位平素の御愛顧に酬ゆる爲商品は總て正價の**一割五分引**以て特別勉強の廉價を以て差上可申候間多少に不拘御買上げの程偏に奉懇願候尚は地方よりの御注文品は半額前金御送付下され候へば早速引替小包にて御發送可仕候

大工道具、打刄物、和洋金物、理髮道具

京城本町三丁目
(友) 友谷商店
電話一三一番

米國スタンダード製松印石油
下總國野田(印)印醬油
仁川日本醬油株式會社製(印)印醬油
下總國万上印味淋壜詰
尾張名古屋(印)印酢
汗浦根炭及日本木炭
英米煙草會社製品各種
神戸株式會社布引礦泉所製馬跡印
豐後湯の花精製品(入浴用)
湯の花菓子(茶甲)瓶入各種

特約店

其他和洋酒、米、麥、石炭、みかん、洋臘、瓦煉瓦、明太魚、鰊、昆布、簾、青筵、味噌、鑵詰、千香、其他乾物類一式

日韓貿易商
京城本町六丁目
藤富國太郎本店
電話三〇八番 電略(ト)

本院は毎日(日曜及祭日を除く外)午前九時より午後四時迄各專門醫に診療を依頼す
但 松村先生の診療時間は午後二時より 和田先生の診療時間は午前九時より正午迄とす

京城居留民團囑託
龍山榮町文平山麓
龍山醫院 (電話六〇三)

緊急廣告

龍山桃山遊廓地
貸地約三萬坪
貸家約八十軒

右は今般警務總監部に於て風紀取締上市内に散在せる飲食店及小料理店を極めて短日の間に京龍兩遊廓へ立退きの嚴命有之候に付ては各營業者諸士の御便宜を謀り一面桃山遊廓發展を期するため

地料 八月より向ふ一ケ年間無料
貸家 八月より向ふ四ケ月間無賃

貸與致候

御希望の方は京城旭町三丁目畑彌右衛門方へ至急御來談有之度候

龍山桃山遊廓事務所

仁川京町一丁目六番地 (區裁判所橫)
後藤法律事務所
電話五〇六

諸官衙御用

營業科目

和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽

特約販賣

東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京博文館賣捌特約店
東京金港堂發行書籍特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 (電話二三〇番)
出張所 東京京橋南鍋町一丁目十番地 電新橋三六九二

(大) (命) (嶌)

特約販賣 自製

味噌醬油製造元
漬物問屋

京城本町五丁目

大上商店

(電話二五一番)

和洋酒、(印)精酢、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物食料雜貨、ビール、米糀、鹽辛、日本食鹽、荒物各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進

紙と印刷

諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本

諸官衙御用

播本(ハリモト)商店

京城本町六丁目
電話百拾番

臨時水害救濟會寄附金募集廣告

今回の水害は近古未曾有の慘事にして其範圍頗る廣く東京、神奈川、千葉、群馬、埼玉、栃木、茨城、福島、宮城、岩手、山梨、長野、新潟、靜岡、三重、愛知、秋田、山形、鳥取等の諸府縣に渉れり此等羅災地方の人民は或は其家屋を流亡し或は父母妻子離散し衣食の窮乏を訴ふるもの其數幾十萬人の多きに上る眞に痛嘆に堪へざるなり若し之を等閑視するときは饑餓に亞ぐに病疫を以てし悲慘の狀況日々增大せんとす豈急遽之を救濟せずして可ならんや是に於てか我々有志相謀り天下の同情者に訴へ寄附金を募集して以て適宜各府縣に洽く救恤の資に供せんと欲す大方の篤志家諸君希くは本會の旨を諒し奮て此擧を贊助せられんことを

明治四十三年八月

東京日比谷衆議院圖書館内

臨時水害救濟會

總裁 侯爵 松方正義
副總裁 長谷場純孝
副總裁 男爵 澁澤榮一
常務委員 益田孝
同 林田龜太郎
同 豐川良平
同 太田峰三郎
同 中野武營
會計監督 佐竹作太郎
同 根津嘉一郎

注意

一 寄附金は金一圓以上の事
一 寄附金締切は九月二十日限りとす
一 寄附金は特に特定なき地方は左記宛便宜御郵送被成下度候

東京市日比谷衆議院圖書館內
臨時水害救濟會會計監督